

日商簿記1級
講師が選んだ過去問題集

答案用紙

問1

損益計算書

(単位：千円)

売上高		
商品売上高	()	
役員収益	()	()
売上原価		
商品売上原価	()	
役員原価	()	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		
販売費	()	
給料手当	()	
退職給付費用	()	
貸倒引当金繰入額	()	
一般管理費	()	
減価償却費	()	
ソフトウェア償却額	()	()
営業利益		()
営業外収益		
受取配当金		()
営業外費用		
社債利息		()
経常利益		()
特別利益		
投資有価証券売却益		()
特別損失		
投資有価証券評価損		()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税	()	
法人税等調整額	()	()
当期純利益		()

問2

(単位：千円)

①	②	③	④

第1問

イ		ロ	
ハ		ニ	
ホ			

第2問

問 備品A～Dについて、次の①～⑤の各項目の金額を求めなさい。なお、該当する金額がない場合、またはゼロの場合は、解答欄に「－」を記入すること。

- ① 日本商工株式会社の損益計算書において20X8年度に計上される支払リース料
- ② 日本商工株式会社の20X8年度における減価償却費
- ③ 日本商工株式会社の20X8年度における支払利息
- ④ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース資産の帳簿価額
- ⑤ 日本商工株式会社の20X8年度末のリース債務（未払利息を除く）の残高

備品	①	②	③	④	⑤
A	千円	千円	千円	千円	千円
B	千円	千円	千円	千円	千円
C	千円	千円	千円	千円	千円
D	千円	千円	千円	千円	千円

第3問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ① A社株式取得時におけるA社株式取得額に含まれるのれんの金額
- ② 20X8年3月末の連結貸借対照表に計上されるA社株式の金額
- ③ 20X7年度の連結損益計算書に計上される持分法による投資損益の金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)
- ④ 20X9年3月末の連結貸借対照表に計上されるB社株式の金額
- ⑤ 20X8年度において、[資料Ⅱ]の3.に関連してP社とA社との取引により売上高に加減する金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)

①	千円	②	千円
③	借・貸	④	千円
⑤	借・貸		千円

第1問

貸借対照表
純資産の部

(単位：千円)

株主資本		
資本金	()	
資本準備金	()	
その他資本剰余金	()	()
利益準備金	()	
固定資産圧縮積立金	()	
別途積立金	()	
繰越利益剰余金	()	()
自己株式	()	
株主資本合計	()	
新株予約権	()	
純資産合計	()	

第2問

連結損益計算書

(単位：千円)

費用	金額	収益	金額
売上原価		売上高	
役員原価		役員収益	
広告宣伝費		受取配当金	
減価償却費		受取利息	
のれん償却額		固定資産売却益	
支払手数料		()	
その他の営業費用			
支払利息			
非支配株主に帰属する当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益			

第1問

ア	イ	ウ	エ	オ

第2問

(1) 満期保有目的債券	千円
(2) 子会社株式	千円
(3) 関連会社株式	千円
(4) その他有価証券	千円
(5) その他有価証券評価差額金（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円
(6) 繰延ヘッジ損益（借方残高の場合は金額の前に△を付すこと）	千円

第3問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

本支店合併損益計算書

自20X6年4月1日 至20X7年3月31日 (単位：千円)

I 売上高	()	
II 売上原価		
1 期首商品棚卸高	()	
2 当期商品仕入高	()	
合計	()	
3 期末商品棚卸高	()	
差引	()	
4 棚卸減耗損	()	
5 商品評価損	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
1 営業費	()	
2 貸倒引当金繰入	()	
3 減価償却費	()	
4 退職給付費用	()	()
営業利益		()
IV 営業外収益		
1 受取利息	()	
2 有価証券利息	()	
3 受取家賃	()	()
V 営業外費用		
1 ()	()	
2 為替差損	()	()
経常利益		()
VI 特別利益		
1 固定資産売却益		2,970
VII 特別損失		
1 投資有価証券評価損	()	
税引前当期純利益	()	
法人税、住民税及び事業税		274,000
当期純利益	()	()

問3

(単位：千円)

売掛金 (貸倒引当金控除前)	満期保有目的債券	その他有価証券	建物減価償却累計額	繰越利益剰余金

第1問

1	2	3	4

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

(オ)	(カ)	(キ)	(ク)

(ケ)	(コ)	(サ)	(シ)

損益計算書

(単位：千円)

商品売上原価 ()	商品売上高 ()
役員原価 ()	役員収益 ()
商品保証引当金繰入額 ()	受取利息配当金 ()
販売費 ()	投資有価証券売却益 ()
貸倒引当金繰入額 ()	
一般管理費 ()	
減価償却費 ()	
ソフトウェア償却額 ()	
退職給付費用 ()	
支払リース料 ()	
支払利息 25,000	
関係会社株式評価損 ()	
法人税、住民税及び事業税 ()	
法人税等調整額 ()	
当期純利益 ()	
()	()

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金 ()	買掛金 585,000
売掛金 ()	契約負債 ()
貸倒引当金 ()	短期借入金 ()
商品 ()	商品保証引当金 ()
前払費用 ()	未払法人税等 ()
建物 1,500,000	未払費用 ()
建物減価償却累計額 ()	長期借入金 1,000,000
土地 1,089,900	退職給付引当金 ()
ソフトウェア ()	資本金 1,000,000
投資有価証券 ()	資本準備金 200,000
関係会社株式 ()	利益準備金 ()
破産更生債権等 ()	繰越利益剰余金 ()
繰延税金資産 ()	その他有価証券評価差額金 ()
()	()

(注) 金額がマイナスの場合、△を付しなさい。

第1問

ア	イ	ウ

エ	オ

第2問

問1

損益計算書 (一部)

(単位: 千円)

	20X2 年度 (20X2年4月1日～20X3年3月31日)	20X3 年度 (20X3年4月1日～20X4年3月31日)
売上高	3,314,000	()
売上原価		
期首商品棚卸高	()	()
当期商品仕入高	()	()
合計	()	()
期末商品棚卸高	()	()
売上総利益	()	()
販売費及び一般管理費		
減価償却費	()	()
営業利益	()	()

問2

(1)	20X2 年度期首における会計方針の変更による累積的影響額	千円
(2)	20X2 年度期首における過去の誤謬の訂正による累積的影響額	千円
(3)	20X2 年度における遡及処理後の当期純損益	千円
(4)	20X3 年度における繰越利益剰余金の期末残高	千円

第3問

(単位: 千円)

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5

問1

貸借対照表

日商株式会社

20X6年3月31日

(単位：千円)

(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	()	支払手形	75,500
受取手形	()	買掛金	()
貸倒引当金	()	未払金	()
売掛金	()	未払費用	()
貸倒引当金	()	未払法人税等	()
商品	()	返金負債	()
返品資産	()	契約負債	()
前払費用	()	保証債務	()
流動資産合計	()	車両購入手形	()
II 固定資産		流動負債合計	()
有形固定資産		II 固定負債	
建物	1,500,000	車両購入手形	()
減価償却累計額	()	固定負債合計	()
備品	()	負債合計	()
減価償却累計額	()	(純資産の部)	
車両運搬具	()	I 株主資本	
減価償却累計額	()	資本金	2,460,000
土地	2,369,000	資本剰余金	
有形固定資産合計	()	資本準備金	()
投資その他の資産		資本剰余金合計	()
長期貸付金	1,000,000	利益剰余金	
長期前払費用	()	利益準備金	()
投資その他の資産合計	()	その他利益剰余金	
固定資産合計	()	繰越利益剰余金	()
		利益剰余金合計	()
		株主資本合計	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債純資産合計	()

問2

(1)	%	(2)	千円	(3)	千円
(4)	千円	(5)	千円		

第1問

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)	(ソ)

問1

損益計算書		(単位：千円)	
売上高		営業外収益	
商品販売 ()		受取賃貸料 32,400	
ソフトウェア開発 ()		受取配当金 8,300	
売上高合計 ()		有価証券利息 ()	
売上原価		為替差益 ()	
商品販売 ()		営業外収益合計 ()	
ソフトウェア開発 ()		営業外費用	
売上原価合計 ()		減価償却費 ()	
売上総利益 ()		支払利息 8,000	
販売費及び一般管理費		営業外費用合計 ()	
貸倒引当金繰入額 ()		経常利益 ()	
給料手当 20,000		特別損失	
退職給付費用 ()		減損損失 ()	
減価償却費 ()		特別損失合計 ()	
ソフトウェア償却費 ()		税引前当期純利益 ()	
研究開発費 ()		法人税、住民税及び事業税 ()	
一般管理費 ()		法人税等調整額 ()	
販売費及び一般管理費合計 ()		法人税等合計 ()	
営業利益 ()		当期純利益 ()	

問2 (単位：千円)

返品資産 ()
受注損失引当金 ()
退職給付引当金 ()
利益準備金 ()
繰越利益剰余金 ()

第1問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

第2問

問1

(単位：千円)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問2

(単位：千円)

(1)	日本商工株式会社の個別損益計算書における当期純利益	
(2)	S2社の個別損益計算書における円換算後の当期純利益	
(3)	連結包括利益計算書におけるその他有価証券評価差額金 (税効果控除後)	
(4)	連結包括利益計算書における為替換算調整勘定	
(5)	S1社の連結に係る非支配株主持分当期変動額	
(6)	S2社の連結に係る非支配株主持分当期変動額	
(7)	S2社の連結に係るのれんの期末残高	
(8)	S2社株式の一部売却に伴う資本剰余金当期変動額 (税引後)	
(9)	連結損益計算書における当期純利益	
(10)	親会社株主に係る包括利益	

問1 20X6年度における損益計算書を作成しなさい。

損 益 計 算 書		自 20X6年 4月 1日 至 20X7年 3月 31日		(単位：千円)
I 売 上 高		()
II 売 上 原 価				
1 商品期首棚卸高	()
2 当期商品仕入高	()
合 計	()
3 商品期末棚卸高	()
差 引	()
4 棚卸減耗損	(()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費				
1 販 売 費	()
2 一 般 管 理 費	()
3 退職給付費用	()
4 貸倒引当金繰入	()
5 減価償却費	()
6 資産除去債務利息費用	(()
営業利益		()
IV 営業外収益				
1 有価証券評価益	()
2 為替差益	()
3 受取利息	4,687	()
V 営業外費用				
1 手形売却損	87			
2 社債利息	(()
経常利益		()
VI 特別利益				
1 社債買入消却益	()
2 固定資産売却益	500	()
税引前当期純利益		()
法人税、住民税及び事業税		()
当期純利益		()

問2 20X6年度の貸借対照表における次の(1)~(5)の金額を求めなさい。

(単位：千円)

(1)買掛金	(2)契約負債	(3)資産除去債務	(4)社債	(5)繰越利益剰余金

問題1

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

(オ)	(カ)	(キ)	(ク)

問題2

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本				その他の 包括利益 累計額	非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
当期首残高							
当期変動額							
株式の発行							
剰余金の配当							
親会社株主に帰属 する当期純利益							
自己株式の処分							
子会社株式の売却 による持分の増減額							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計							
当期末残高							

※ 負数（借方金額）については、△を付しなさい。

※ 空欄とすべき箇所については、「-」などを付す必要はなく、空欄のままとしなさい。

問1

損益計算書

(単位：千円)

売上高	()
売上原価	()
売上総利益(損失) [※]	()
販売費及び一般管理費	
販売費	14,000
支払手数料	()
貸倒引当金繰入額	()
給料手当	35,000
減価償却費	()
ソフトウェア償却費	()
退職給付費用	()
株式報酬費用	()
一般管理費	()
販売費及び一般管理費合計	()
営業利益(損失) [※]	()

営業外収益	
受取配当金	4,000
営業外収益合計	4,000
営業外費用	
支払利息	2,000
営業外費用合計	2,000
経常利益(損失) [※]	()
特別利益	
投資有価証券売却益	()
特別利益合計	()
特別損失	
減損損失	()
特別損失合計	()
税引前当期純利益(損失) [※]	()
法人税、住民税及び事業税	()
当期純利益(損失) [※]	()

※ 各項目が損失の場合は、金額に△を付しなさい。

問2 (単位：千円)

資産グループの使用価値 ()

問3 (単位：千円)

棚卸資産 ()
 のれん ()
 利益剰余金 ()
 売上高 ()
 その他の包括利益 ()

土地 ()
 資本剰余金 ()
 非支配株主持分 ()
 売上原価 ()

問題 (25点)

第1問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

第2問

問1	千円
問2	千円
問3	円
問4	円

第3問

問1

(単位：千円)

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

問2

(単位：千円)

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

		金額
(1)	原料B当月購入単価	千円
(2)	原料A当月消費額	千円
(3)	第1工程加工費配賦額	千円
(4)	第2工程加工費実際発生額	千円
(5)	第1工程完成品原価(原料費)	千円
	第1工程完成品原価(加工費)	千円
(6)	第2工程月初仕掛品原価(前工程費)	千円
	第2工程月初仕掛品原価(加工費)	千円
(7)	第2工程完成品原価(原料費)	千円
	第2工程完成品原価(加工費)	千円

問1

問2

製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個

問3

(1) 製品Xの生産量 = 個製品Yの生産量 = 個(2) 低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

問4

(1) 臨時の注文200個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

(2) 臨時の注文300個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ

{ 有利である。
不利である。

(いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

第1問

問1

_____ 円

問2

(1) _____ 円

(2) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

(1) _____ 円

(2) _____ 円/ロット

(3) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問4

(1) _____ 円

(2) _____ 円

問5

(1) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

(2) _____ 円 (借方 ・ 貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問6

第2問

①	仕 損 費	予 定 配 賦 額	加 工 費	異 常 仕 損 費	原 価 差 異
②	材 料 受 入 価 格 差 異	異 常 仕 損 費	非 原 価 項 目	処 分 価 額	操 業 度 差 異
③	完 成 品	売 上 原 価	営 業 外 費 用	材 料 消 費 高	良 品
④	科 目 別	指 図 書 別	組 別	等 級 別	部 門 別

問1

①	工 程 管 理	検 査	補 修
②	連 産 品	副 産 物	仕 損 品
③	補 修		修 理
④	補 修		修 理
⑤			(万円)
⑥			(%)

問2

⑦	意 思 決 定	業 績 評 価	予 算 管 理
⑧	原 価 差 異 分 析	差 額 原 価 収 益 分 析	C V P 分 析
⑨			(万円)
⑩			(万円)
⑪			(万円)
⑫			(万円)
⑬	第 1 案		第 2 案
⑭			(万円)

問1

自製部品A	円
自製部品B	円
自製部品C	円

問2

製品X	円
製品Y	円
製品Z	円

問3

買入部品 a	個
買入部品 b	個
買入部品 c	個
買入部品 d	個
買入部品 e	個

問4

部品製造部門必要直接作業時間	時間
製品製造部門必要直接作業時間	時間

問5

買入部品消費量差異	円	(借方 ・ 貸方)
直接労務費作業時間差異	円	(借方 ・ 貸方)
製造間接費能率差異	円	(借方 ・ 貸方)

差異がある場合、借方・貸方のいずれか適切なほうを○で囲みなさい。

問6

自製部品消費量差異	円	(借方 ・ 貸方)
直接労務費作業時間差異	円	(借方 ・ 貸方)
製造間接費能率差異	円	(借方 ・ 貸方)

差異がある場合、借方・貸方のいずれか適切なほうを○で囲みなさい。

問1 年間撮影件数

件

問2

(1) 高性能のCTスキャン購入案の税引後ネット・キャッシュ・インフロー

(単位：千円)

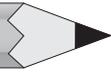
X7年度末	X8年度末	除却年度末

(2) 高性能のCTスキャン購入案の正味現在価値

千円

問3

①	独立投資案	相互排他的投資案	補完投資案
②	内部利益率法	回収期間法	正味現在価値法
③	内部利益率	回収期間	正味現在価値
④	長い		短い
⑤	現価		終価
⑥			(万円)
⑦			(万円)
⑧	高性能のCTスキャン購入案	普通の性能のCTスキャン購入案	



問1

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

問2

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

①		⑪	千円
②		⑫	千円
③		⑬	
④	千円	⑭	
⑤	千円	⑮	千円
⑥	千円	⑯	
⑦		⑰	千円
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	

問1

- ① 材料仕入高 _____ 円
- ② 直接材料費 _____ 円
- ③ 製造間接費 _____ 円
- ④ 製品完成高 _____ 円
- ⑤ 売上原価 _____ 円
- ⑥ 在庫金利 _____ 円
- ⑦ 営業利益 _____ 円
- ⑧ 売上高営業利益率 _____ %

問2

- ① 設計 適合性 安全 (いずれかを○で囲みなさい)

- ② _____ 円
- ③ 予防 評価 失敗 (いずれかを○で囲みなさい)

- ④ 標準 実際 機会 支出 (いずれかを○で囲みなさい)

問3

- ㍿ _____
- ① _____
- ㍿ _____
- ㍿ _____

第1問

問1 円

問2 円

問3 円 / kg

問4

①	<input type="text"/>
②	<input type="text"/>
③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>

問5

①					(円 / kg)
②					(円)
③	価値移転	未来原価回避能力	負担力主義	未来収益獲得能力	
④	差額	標準	平均	実際	
⑤					(円)
⑥					(円)
⑦					(円)

第2問

①	<input type="text"/>	(%)
②	<input type="text"/>	(千円)
③	<input type="text"/>	(%)
④	<input type="text"/>	(千円)
⑤	X社	Y社
⑥	高い	低い

第1問

問1

問2

問3

 千円

問4

問5

問6

 %

問7

第2問

問1

X製品

 円

Y製品

 円

問2

X製品

 個

Y製品

 個

問3

(1)

 円

(2)

 円

問4

①	直接原価計算	最小自乗法	多重回帰分析	線形計画法
②	非基底変数	独立変数	スラック変数	従属変数
③	貢献利益図表	機能原価分析表	損益分岐図表	シンプレックス表
④	シンプレックス基準	貢献利益	ピボット・エレメント	シャドウ・プライス

問1

購入原料価格差異	円 ()
----------	-------

問2

原料費の差異分析	原料配合差異	円 ()
	原料歩留差異	円 ()
直接労務費の差異分析	労働賃率差異	円 ()
	労働能率差異	円 ()
	労働歩留差異	円 ()
変動製造間接費の差異分析	予算差異	円 ()
	能率差異	円 ()
	歩留差異	円 ()
標準変動費差異合計		円 ()

問1, 問2の () 内には「有利な差異」の場合には F と記入すること。
「不利な差異」の場合には U と記入すること。

問3

実際損益計算書

(単位:円)

売上高	()
標準変動費	()
標準貢献利益	()
標準変動費差異	()
実際貢献利益	()
固定製造間接費	()
棚卸資産金利	()
設備金利	()
販売手数料	()
固定一般管理費	()
残余利益	()

第1問

問1 2月の売上原価予算(単位:千円)

直接材料費予算	① ()
直接労務費予算	② ()
製造間接費予算配賦額	③ ()
当月総製造費用	(?)
月初製品有高	(?)
月末製品有高	(?)
売上原価	(?)
予定操業度差異	④ ()
売上原価予算	⑤ ()

問2 ()千円

問3 ()千円

問4 ()千円

問5 ()%

第2問

問1 ① ()

② ()

③ ()

問2 ④ ()

⑤ ()

⑥ ()

⑦ ()

第1問

問1

(単位：万円)

① (借方) 間接労務費	② (借方) 間接経費
③ (貸方) 仕掛品	④ (借方) 直接材料費
⑤ (借方) 直接労務費	⑥ (貸方) 製品
⑦ 営業利益	⑧ 税引前利益

問2

(単位：万円)

(借方)	(貸方)
------	------

第2問

①	A	C	D	E			
②	A	C	D	E			
③	H	I	J	K	L		
④	H	I	J	K	L	M	N
⑤	A	B	F	G			
⑥		O	P				
⑦	H	I	J	K	L		
⑧		O	P				
⑨	H	I	J	K	L	M	N

第1問
問1

直接原価計算方式による月次損益計算書

(単位：円)

	第1工程	第2工程	第3工程
売上高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
変動売上原価：			
直接材料費	3,200,000	240,000	160,000
直接加工費			
変動間接加工費			
前工程費	0		
計			
次工程振替高			
差引：変動売上原価			
貢献利益			
固定費			
工程利益			1,343,880

問2

	第1工程	第2工程	第3工程
貢献利益率	%	%	%
工程利益率	%	%	%

第2問

	I 欄	II 欄
(1)		
(2)		
(3)		

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産		I 流動負債	
()	()	買掛金	()
売掛金	()	短期借入金	()
商品	()	未払金	()
貯蔵品	()	未払費用	()
前払費用	()	()	()
未収収益	()	()	()
仮払金	()	預り金	()
貸倒引当金	()	賞与引当金	()
II 固定資産		II 固定負債	
有形固定資産		社 債	()
建物	()	()	()
構築物	()	営業保証金	()
工具、器具及び備品	()	負債合計	()
土地	()	純 資 産 の 部	
無形固定資産		I 株主資本	
借地権	()	資本金	()
投資その他の資産		資本剰余金	
()	()	資本準備金	()
()	()	その他資本剰余金	()
破産更生債権等	()	利益剰余金	
繰延税金資産	()	利益準備金	()
ゴルフ会員権	()	その他利益剰余金	
貸倒引当金	()	繰越利益剰余金	()
		II 評価・換算差額等	
		その他有価証券評価差額金	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債及び純資産合計	()

損益計算書

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		()
売 上 原 価		()
売 上 総 利 益		()
販売費及び一般管理費		()
営 業 利 益		()
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	()	
有 価 証 券 利 息	()	
受 取 配 当 金	()	
投資有価証券売却益	()	
()	()	
雑 収 入	()	()
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	()	
社 債 利 息	()	
()	()	
雑 損 失	()	()
経 常 利 益		()
特 別 利 益	()	()
()	()	
特 別 損 失	()	()
()	()	
貸倒引当金繰入額	()	
ゴルフ会員権評価損	()	()
税引前当期純利益		()
()	()	
()	()	
()	()	()
当 期 純 利 益		()

販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科目	金 額
報酬及び給料手当	485,047
賞 与	()
通 信 費	()
租 税 公 課	()
減 価 償 却 費	97,212
支 払 手 数 料	()
貸倒引当金繰入額	()
賞与引当金繰入額	()
退 職 給 付 費 用	()
そ の 他 の 経 費	195,473
合 計	()

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金預金		買掛金	
未収入金		未払法人税等	
契約資産		前受賃貸収入	
材 料		預り保証金	
建 物 D	900,000	リース債務	
備 品 C	150,000	貸倒引当金	
リース資産		退職給付引当金	
土 地	387,920	工事損失引当金	
繰延税金資産		繰延税金負債	
その他の固定資産	1,300,000	その他の負債	778,000
完成工事原価(材料費)		備品C減価償却累計額	
完成工事原価(労務費)		建物D減価償却累計額	
完成工事原価(外注加工費)		その他の固定資産減価償却累計額	500,000
完成工事原価(経費)		資 本 金	5,000,000
完成工事原価(工事損失引当金繰入)		利 益 準 備 金	299,400
不動産賃貸原価		圧縮積立金	
給与手当	432,000	繰越利益剰余金	
退職給付費用		完成工事高	
減価償却費(備品C)		不動産賃貸収入	
減価償却費(ソフトウェア)		国庫補助金収入	300,000
販 売 費	135,000		
減価償却費(その他の固定資産)	7,000		
貸倒引当金繰入			
支払利息			
法人税、住民税及び事業税			
法人税等調整額			
合 計		合 計	

問1 X2年度末

- ① P社の連結貸借対照表上のA社株式 百万円
- ② ①のA社株式に含まれているのれん 百万円
- ③ B社株式に含まれているのれん 百万円

問2 X3年度末

- ① 連結修正仕訳においてA社の資本と相殺されるP社のA社株式に対する投資 百万円
- ② 段階取得に係る差益 百万円
- ③ P社の連結貸借対照表上のA社に係るのれん 百万円
- ④ A社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑤ B社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑥ P社の連結貸借対照表上の為替換算調整勘定 百万円

問3

(単位：百万円)

(借)	非支配株主持分当期変動額 ()	(貸)	B	社	株	式 ()
	()					()

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

問 1

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金	961,000	未払法人税等	()
製品	()	長期借入金	2,000,000
商品	()	退職給付引当金	()
仕掛品	()	企業結合に係る特定勘定	()
A事業部資産	()	A事業部資産減価償却累計額	()
B事業部資産	()	B事業部資産減価償却累計額	()
C事業部資産	()	C事業部資産減価償却累計額	()
共用資産	()	共用資産減価償却累計額	()
のれん	()	資本金	1,000,000
投資有価証券	()	資本準備金	540,000
繰延税金資産	()	利益準備金	150,000
		繰越利益剰余金	()
		その他有価証券評価差額金	()
	()		()

損益計算書

(単位：千円)

期首製品棚卸高	40,000	A事業部売上高	1,800,000
期首商品棚卸高	160,000	B事業部売上高	2,800,000
当期商品仕入高	3,900,000	C事業部売上高	2,000,000
当期製品製造原価	()	期末製品棚卸高	()
棚卸減耗損	()	期末商品棚卸高	()
棚卸資産評価損	()	投資有価証券売却益	90,000
販売費	100,000	企業結合に係る特定勘定取崩益	()
労務費	()	法人税等調整額	()
退職給付費用	()		
減価償却費	()		
のれん償却額	()		
その他経費	()		
支払利息	100,000		
減損損失	()		
事業整理損失	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当期純利益	()		
	()		()

問2

修正案に基づいた場合の減損損失 千円

修正案に基づいた場合のB事業部資産の減損処理後の帳簿価額 千円

問3

(1)	(2)	(3)	(4)

問4

(5)	(6)

問5

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額